※令和４年度以降入学生用

学校番号	３００７

令和５年度　保健体育科

教科	保健体育科	科目	保健	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	大修館５０　保体７０２　新高等保健体育						
副教材等	大修館　新高等保健体育ノート						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・生涯を通じる健康を通して、各年代における健康問題や健康課題について理解する。
・近い将来の自分の健康を維持増進していくための知識を取得する。
・妊婦や高齢者の健康を守るために自分には何ができるか考察してみる。
・社会生活と健康を通して現代社会での健康を守るしくみと取り組みについて学ぶ。
・現代日本および世界の健康課題について理解し、考察してみる。

２　学習の到達目標

・各年代における健康問題や健康課題について理解できるようになる。
・近い将来の自分の健康を維持増進していくための知識を取得する。
・妊婦や高齢者の健康問題に興味をもち、その課題について考えることができるようになる。
・現代日本および世界の健康課題について理解し、自分の健康課題だけでなく、グローバルな視野に立って、健康の大切さを知る。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	健康を保持増進するための課題や個人生活及び社会生活における健康・安全課題の解決に役立ち、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくための基礎的な事項を理解している。	健康を保持増進するための課題や個人生活及び社会生活における健康･安全課題についての解決をめざして、知識を活用した学習活動などにより、総合的に考え、判断し、それらを表している。	健康を保持増進するためには、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることに関心を持ち、個人生活及び社会生活における健康･安全課題について、意欲的に学習に取り組もうとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	生涯を通じる健康	思春期と健康 1、 思春期における体の変化と性機能の成熟 2、 思春期における心の変化と健康課題	a: ・思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面，心理面，行動面などの変化に関わり，健康課題が生じることがあることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・思春期の心身の変化に対応して，自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度が必要であること，及び性に関する情報等への適切な対処が必要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・結婚生活について，心身の発達や健康の保持増進の観点から理解したことを言ったり書いたりしている。 ・受精，妊娠，出産とそれに伴う健康課題について，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響などについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・結婚生活を健康に過ごすには，自他の健康に対する責任感，良好な人間関係や家族や周りの人からの支援，及び母子の健康診査の利用や保健相談などの様々な保健･医療サービスの活用が必要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・中高年期を健やかに過ごすためには，若いときから，健康診断の定期的な受診などの自己管理を行うこと，生きがいをもつこと，運動やスポーツに取り組むこと，家族や友人などとの良好な関係を保つこと，地域における交流	授業態度 発問評価， ノートやプリントの記述， ブレインストーミング	授業態度 発問評価， ノートやプリントの記述， ブレインストーミング	授業態度 発問評価， ノートやプリントの記述， ブレインストーミング
		性意識の変化と性行動の選択 1、 性機能の変化と異性の尊重 2、 性に関する情報と性行動の選択				
		結婚生活と健康 １、結婚・婚姻状況と健康 ２、夫婦関係、親子関係と健康				
		妊娠・出産と健康 1、 受精･妊娠･出産 2、 母子の健康のために				
		家族計画 1、 家族計画の意義 2、 避妊法の選択と人工妊娠中絶				
		加齢と健康 1、 加齢による心身の変化 2、 中高年期を健やかに過ごすために				

※令和４年度以降入学生用

		高齢社会に対応した取り組み 1、 高齢者を取り巻く状況 2、 高齢者を支える社会の取り組み	をもつことなどが関係することについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・高齢期には，加齢に伴い，心身の機能や形態が変化すること，その変化には個人差があること，疾病や事故のリスクが高まること，健康の回復が長期化する傾向にあることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・高齢社会では，認知症を含む疾病等への対処，事故の防止，生活の質の保持，介護などの必要性が高まることなどから，保健・医療・福祉の連携と総合的な対策が必要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 b: ・生涯の各段階における健康について，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。 ・思春期と健康について，習得した知識を基に，心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために，性に関わる情報を適切に整理している。 ・結婚生活と健康について，習得した知識を基に，結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて，保健・医療サービスの活用方法を整理している。 ・加齢と健康について，習得した知識を基に，中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。 ・生涯の各段階における健康について，自他や社会の課題の解決方法と，それを選択した理由などを話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて説明している。 c: 生涯の各段階における健康に			

※令和４年度以降入学生用

			ついて，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。			
		働くことと健康 1、 働くこと（労働）の意義と働き方の変化 2、 働く人における健康問題の現状	a：・労働による傷害や職業病などの労働災害は，作業形態や作業環境の変化に伴い質や量が変化してきたことについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・労働災害を防止するには，作業形態や作業環境の改善，長時間労働をはじめとする過重労働の防止を含む健康管理と安全管理が必要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・働く人の健康の保持増進は，職場の健康管理や安全管理とともに，心身両面にわたる総合的，積極的な対策の推進が図られることで成り立つことについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・働く人の日常生活においては，積極的に余暇を活用するなどして生活の質の向上を図ることなどで健康の保持増進を図っていくことが重要であることについて，を理解したことを言ったり書いたりしている。 b：・労働と健康について，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。 ・働く人の健康の保持増進について，習得した知識を基に，生活の質の向上を図ることと関連付けて，課題解決の方法に応用している。 ・労働災害と健康について，習得した知識を基に，労働災害の防止に向けて，個人の取組と社会的対			
二学期		労働災害の防止 1、 日本における労働災害の推移 2、 労働災害を防止するための仕組み				

※令和４年度以降入学生用

		働く人の健康づくり 1、 職場における健康の保持･増進活動 2、 日常生活における健康の保持･増進活動	策を整理している。 ・労働と健康について，自他や社会の課題の解決方法と，それを選択した理由などを話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて説明している。 c: 労働災害と健康について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。			
	健康を支える環境づくり	大気汚染と健康 1、 大気汚染による健康への影響 2、 地球規模の大気環境問題	a:・人間の生活や産業活動は，大気汚染，水質汚濁，土壌汚染などの自然環境汚染を引き起こし，健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることがあるということについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・上下水道の整備，ごみやし尿などの廃棄物を適切に処理する等の環境衛生活動は，自然環境や学校･地域などの社会生活における環境，及び人々の健康を守るために行われていることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 b: ・環境と健康について，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。 ・人間の生活や産業活動などによって引き起こされる自然環境汚染について，事例を通して整理し，疾病等のリスクを軽減するために，環境汚染の防止や改善の方策に応用している。 ・環境と健康について，自他や社会の課題の解決方法と，それを選択した理由などを話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて説明している。 c: 環境と健康について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。			
		水質汚濁・土壌汚染と健康 1、 水質汚濁による健康への影響 2、 土壌汚染による健康への影響				
		健康被害を防ぐための環境対策 1、 環境汚染の防止とその対策 2、 産業廃棄物の問題と新たな環境汚染の課題				
		環境衛生に関わる活動 1、 安全な飲み水の供給と汚水の処理 2、 生活環境を守るごみ処理				

※令和４年度以降入学生用

		食品の安全性と健康 1、 食品の安全性と課題 2、 食品の安全性の確保	a:・人々の健康を支えるためには，食品の安全性を確保することが重要であり，食品の安全性が損なわれると，健康に深刻な被害をもたらすことがあり，食品の安全性を確保することは健康の保持増進にとって重要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・食品衛生に関わる健康被害の防止と健康の保持増進には，適切に情報を公開，活用するなど行政・生産者・製造者・消費者などが互いに関係を保ちながら，それぞれの役割を果たすことが重要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。・我が国には，人々の健康を支えるための保健・医療制度が存在し，行政及びその他の機関などから健康に関する情報，医療の供給，医療費の保障も含めた保健・医療サービスなどが提供されていることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・健康を保持増進するためには，検診などを通して自己の健康上の課題を的確に把握し，地域の保健所や保健センターなどの保健機関，病院や診療所などの医療機関，及び保健・医療サービスなどを適切に活用していくことなどが必要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・医薬品は，医療用医薬品，要指導医薬品，一般用医薬品の三つに大別され，承認制度によってその有効性や安全性が審査されており，販売に規制が設けられていることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・疾病からの回復や悪化の防止には，個々の医薬品の特性を理解			
		食品の安全性を確保する取り組み 1、 食品の安全性を確保する行政、生産･製造者の役割 2、 食品の安全性の確保と私たちの役割				
三学期		保健制度とその活用 １、生涯を通じて病気から人々の健康を守る保健行政 ２、健康の保持・増進のために活用できる保健サービス				
		医療制度とその活用 １、医療制度と医療保険 ２、医療機関の役割と適切な活用				

※令和４年度以降入学生用

		医薬品の制度とその活用 1、 医薬品の種類と承認制度 2、 医薬品の使い方	した上で，使用法に関する注意を守り，正しく使うことが必要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 b：・食品と健康について，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。 ・食品の安全性と食品衛生に関わる活動について，習得した知識を自他の日常生活に適用して，健康被害の防止と健康を保持増進するための計画を立てている。 ・食品と健康について，自他や社会の課題の解決方法と，それを選択した理由などを話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて説明している。 c：食品と健康について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。			

※令和４年度以降入学生用

		様々な保健活動や対策 1、 地球規模の健康課題を解決する取り組み 2、 様々な機関･組織の活動	a:・我が国や世界では，健康を支えるために，健康課題に対応して各種の保健活動や社会的対策が行われていることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 b: ・様々な保健活動や社会的対策について，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。 ・地域の保健・医療機関やスポーツ施設の活用の仕方について，関連した情報を整理し，生活の質の向上に向けた課題解決に応用している。 ・様々な保健活動や社会的対策について，自他や社会の課題の解決方法と，それを選択した理由などを話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて説明している。 c: 様々な保健活動や社会的対策について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。			

※令和４年度以降入学生用

		誰もが健康に過ごせる社会に向けた環境づくり 1、 すべての政策や取り組みに「健康」の視点を 2、 多様な人や組織が参加して進める環境づくり	a:・自他の健康を保持増進するには，ヘルスプロモーションの考え方に基づいた，健康に関する環境づくりが重要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・一人一人が健康に関心をもち，健康を支える適切な環境づくりに積極的に参加していくことが必要であり，そのことが自分を含めた世界の人々の健康の保持増進につながることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 b: ヘルスプロモーションの考え方に基づいた，健康に関する環境づくりへ積極的に参加していくために，適切な情報を選択・収集して，分析・評価し計画を立てている。 c: 健康に関する環境づくりと社会参加について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度